

平成29年度 事務事業振返りシート (平成28年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110060804050101	事務事業名	図書館運営事業	担当部	教育部	
				担当課	国分図書館	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 克義	
施策名	05	学習機会の充実		グループ	管理図書グループ	
基本事業名	01	学習環境の整備		内線番号	3052	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 33 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	10 教育費		根拠法令・条例等 霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例、同条例施行	関連計画 霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書活動推進計画	
	項	06 社会教育費				
	目	08 図書館費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

・市内に国分・単人図書館、溝辺・横川・牧園・霧島・福山図書室の2図書館、5図書室が設置されている。公共図書館としての役割を果たすために多様な資料の整備に努め、幅広い年齢層の方たちに応じた資料の提供を行う。
 また、未所蔵資料に対する購入希望状況、予約の状況等や図書の出版状況(ベストセラーの把握、新聞等の書籍の紹介)等にも目を向けながら購入を進めたり、相互貸借での対応で利用者の要求にこたえ、図書資料の収集、整理、提供等を行う。さらに、図書館施設の維持管理を行う。
 ・貸出冊数…5冊以内
 ・貸出期間…15日以内
 ・貸出対象者…市内に住んでいる方、市内の学校に通学している方、市内の職場に通勤している方

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	入館者数	人	244,196	262,000	236,269	245,000	254,000
イ	蔵書冊数	冊	416,060	420,000	417,436	419,000	421,000
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 欲しい情報を得られる	貸出者数(移動図書館を除く)	人	105,392	114,000	101,205	106,000	111,000
イ	貸出冊数(移動図書館を除く)	冊	350,747	377,000	346,013	351,000	356,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 学習しやすい環境が整う	住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%	29	29	29	29	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

インターネットなどの新たなメディアを通じ情報の取得が可能となっており、個人一人ひとりの情報ニーズが多様化している。活字離れが進んでいると言われるが、根強い読書、書籍ファンも多い。
 利用者から、「図書館(室)の蔵書を増やしてほしい」「開館時間を早めて欲しい」「開館時間を長くしてほしい」等の蔵書、運営方法等の要望がある。
 平成26年12月市議会常任委員会において、市立図書館の指定管理者制度導入について、検討を進めるべきではないかとの意見があった。

4. 事業費の推移

事業費	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	69	73	53	73
	一般財源	千円	48,606	48,124	46,683	52,375
事業費	千円	48,675	48,197	46,736	52,448	52,448

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 各図書館(室)において、蔵書構成のバランスをとりながら図書等の収集、整理、提供等を行った。さらに、図書館施設の維持管理を行った。 県立図書館、県内の公共図書館及び大学図書館等のインターネットによる蔵書検索を行い、貸出の充実や公共図書館相互貸借の推進を図った。 学校図書館、読書ボランティアグループとの連携や図書館だより等発行し、図書館をより身近に感じてもらえるような活動を行った。 機器類の経年劣化やソフトウェア類のサポート期限が迫っていること及び情報化社会の進展によってより高度な情報提供が可能となったことに伴い、電算システムの更新を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書構成のバランスのとれた一般図書、児童図書等の収集、整理、提供等ができた。図書館施設の維持管理により適切な運営ができた。 公共図書館相互貸借により、利用者が望む本の貸出しができた。 学校図書館、読書ボランティアグループとの連携による各種事業及び図書館だより等による広報活動を実施することにより、読書に対する興味の醸成及び読書活動の推進が図られ、身近な図書館づくりを進めることができた。 ハードウェア及びソフトウェアをインターネット経由により運用するクラウド方式を導入した。図書館業務の効率化、多様化する利用者の要望に応えるためのシステムの高度化に努め、インターネット技術を活用した情報提供の環境が整備され、市民サービスの充実が図られた。

事務事業コード	0110060804050101	事務事業名	図書館運営事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が、欲しい情報を得られることにより、学習しやすい環境が整うことに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	図書館は、市民の教養と文化の向上を図るための学習支援を行う機関である。地域の情報の拠点、読書施設、図書資料等各種情報の保存機関、生涯学習の支援施設等として市が実施すべき事業である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	図書のリクエスト等を受け市民の要求を把握し、それに伴う資料の購入、他公共図書館との相互貸借を行ったり、ホームページ・広報誌・図書館だより等を活用して図書の紹介や行事案内を行うことで、成果が向上する余地はある程度ある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民が、図書資料等を利用して情報等を得られなくなり、教養と文化の向上に支障が出てくる恐れがあるので影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市民の多種多様な要望に応え運営を維持していくためには、削減は困難である。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者制度の導入を検討したが、時期尚早との判断により当面は直営で運営しての方針を決定したため、人件費を削減することができない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	図書館は全ての市民が利用可能であるので公平・公正である。また、図書館法第17条の規定により入館料その他図書資料の利用については無償となっている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	図書の貸出者数や貸出冊数が減少傾向にあるため、情報提供の充実を図り、利用者増に努める。更新した図書館電算システムの機能を活用して、市民へのサービス向上に努める。						
(3)平成30年度の方向性 (具体的な取組)	図書館電算システムの適切な維持・管理に努める。スマートフォン等の情報機器を活用した情報提供の充実を図り、図書館(室)の利用者増を目指していく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報						
事務事業コード	0110060804050102	事務事業名	移動図書館運営事業	担当部	教育部	
				担当課	国分図書館	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 克義	
施策名	05	学習機会の充実		グループ	管理図書グループ	
基本事業名	01	学習環境の整備		内線番号	3052	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 43 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	10 教育費		根拠法令・条例等 図書館法、霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例		
	項	06 社会教育費				
	目	08 図書館費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市教育振興基本計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
図書館から遠隔地にある地域、住宅、団地、小学校等に移動図書館車での図書資料の巡回サービスを実施し、市民の教養と文化の向上を図るための学習環境づくりを支援する。 ・国分図書館移動図書館車「しろやま号、しろやま号小型」、単人図書館移動図書館車「すずかけ号」 ・巡回箇所88箇所 ・配本所28箇所 ・貸出冊数 10冊以内 ・貸出期間 1ヶ月以内(次回巡回日まで)						

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 巡回箇所	箇所	85	85	88	88	88
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 欲しい情報を得られる	貸出者数(移動図書館分のみ)	人	9,688	10,200	9,340	10,400	11,600
イ	貸出冊数(移動図書館分のみ)	冊	49,093	48,000	49,867	50,000	50,100
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 学習しやすい環境が整う	住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%	29	29	29	29	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
昭和33年に市民の学習環境を充実させるため国分市立図書館が設置され、その後、昭和43年に移動図書館車を購入し、巡回が始まった。インターネットなどの新たなメディアを通じ情報の取得が可能となっており、個人一人ひとりの情報ニーズが多様化している。活字離れが進んでいると言われるが、根強い読書、書籍ファンも多い。合併を機に巡回箇所が増えた。小学校では月1回の巡回を児童たちが楽しみに待っている。

4. 事業費の推移	単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)	
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,900	3,983	3,966	3,854	3,854
	事業費	千円	3,900	3,983	3,966	3,854	3,854

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
図書館から遠隔地にある地域、住宅、団地、小学校等の巡回場所の見直しを行い、移動図書館車での図書資料の巡回サービス(巡回箇所 88箇所、配本所 28箇所)を行った。 小学校の調べ学習等の要望にも応え、資料の選定・提供を行った。 国分図書館の移動図書館車「しろやま号」の車検整備を行った。 国分図書館の移動図書館車(小型)の車検整備を行った。 単人図書館の移動図書館車「すずかけ号」の点検整備を行った。	・巡回場所の見直しを行い、新しい地域の人々に図書資料の提供ができた。 ・移動図書館車の整備を行うことにより、計画的な運行を行うことができた。

事務事業コード	0110060804050102	事務事業名	移動図書館運営事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	資料を整備することにより、市民が求める情報や知識を得ることが出来るため、学習しやすい環境が整うことに結び付いている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	図書館は、市民の教養と文化の向上を図るための学習支援を行う機関であり、移動図書館はその一部である。市民の生涯学習支援が「いつでもどこでも」得られるためには市が実施すべき事業である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現在、市内88箇所を巡回している。今後も要望等も考慮しながら巡回場所の見直しを進め、新たな巡回場所の周知・定着を図ることによって市民の利便性が向上するので、成果の向上余地はあるものとする。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民の学習支援を行う機関として図書資料等を利用して情報等を得られなくなり、教養と文化の向上に支障が出てくる恐れがあるため影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費のほとんどは燃料費、車両修繕費用、車検費用、運転手の人件費と移動図書館車の維持・運行のための経費である。現時点においてはこれ以上の削減余地はない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	ただ単に本を積み込んで巡回するだけではなく、巡回先の利用者の要望や読書傾向等を加味した図書資料の選書等を行い、学校においては児童数に応じた積載をすることが必要である。現行の事業に要する人件費は、少人数で多量の移動図書館車用図書の選書、積み込み、運行を行っており、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	移動図書館もすべての市民が利用可能である。また、図書館法第17条の規定により入館料その他図書資料の利用については無償となっているため公平性が確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の読書ニーズを把握し、各駐車場の読書傾向にあった資料の提供に努め、貸出冊数増を目指す。 それぞれの駐車場において新しい利用者の開拓を行い、市民の学習機会の提供に寄与する。 学校との連携を継続し、資料の提供や学習への支援を行う。 						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場を見直しすべきところは行い、市内全域において図書館サービスが提供できるよう情報提供も行いながら利用促進に努める。 						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060804050103	事務事業名	市図書館協議会運営事業	担当部	教育部		
				担当課	国分図書館		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 克義		
施策名	05	学習機会の充実		グループ	管理図書G		
基本事業名	01	学習環境の整備		内線番号	3052		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 33 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	10 教育費		根拠法令・条例等	図書館法・霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例		
	項	06 社会教育費					
	目	08 図書館費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

図書館の運営に関する事項を審議する霧島市立図書館協議会を開催し、図書館サービスの充実、向上を図る。委員の構成は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験を有する者とし、委員の定員は10人以内とする。
 年3回の定例会と必要に応じて臨時会を開催する。
 出会に応じて、委員報酬及び旅費を支給する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 協議会開催回数	回	3	3	3	3
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象しているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民						
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 図書館を利用する						
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 学習しやすい環境が整う						
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

女性委員の登用が推進されているが、平成28年度現在の市図書館協議会の女性委員の占める割合は70%である。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	151	162	137	162
	事業費	千円	151	162	137	162

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
第1回市図書館協議会(委員10人出席) ・平成27年度実績報告について ・平成28年度図書館運営について 第2回市図書館協議会(委員7人出席) ・平成28年度途中経過報告 第3回市図書館協議会(委員8人出席) ・平成28年度途中経過について ・平成29年度図書館運営・事業計画について 他	図書館の運営に関する事項を審議していただき、図書館サービスの充実・向上が図られた。

事務事業コード	0110060804050103	事務事業名	市図書館協議会運営事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	委員の報酬及び旅費のみであり、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	必要最低限の職員が携わっており、職員以外の対応や委託による人件費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	市図書館協議会での意見を参考に、図書館(室)の利用者を増やすための広報手段の有効活用を図り、図書館の貸出者数や貸出冊数の増につなげるよう努める。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	図書館の運営方針に市図書館協議会で審議された改善点等を盛り込み、円滑な図書館運営を行っていく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報						
事務事業コード	0110060804050201	事務事業名	図書館読書推進事業	担当部	教育部	
				担当課	国分図書館	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 克義	
施策名	05	学習機会の充実		グループ	管理図書グループ	
基本事業名	02	学習活動の推進		内線番号	3052	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 33 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例、同条例施行	
	項	06 社会教育費				
	目	08 図書館費				
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書活動推進計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

多様な読書行事等への参加を通して読書への興味、様々な学習への興味を喚起することにより、学習活動の推進を図る。
 【開催行事等】
 ブックスタート、子ども読書の日、おはなし会、おはなしの部屋、夏休み特別講座 (植物採集教室、昆虫採集教室、からくり絵本教室、植物名付け会)、緑陰読書、おはなし王国等読書まつり、図書館だより等の作成・配布等

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 行事の開催回数	回	191	227	178	200	200
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,962	129,679	125,447	130,000	129,756
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 読書に興味を持ってもらう	読書に興味を持った参加者数	人	6,746	7,100	7,380	8,000	8,600
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 自分のテーマに合った学習機会が得られる	学習活動を行わない理由として、自分のテーマに合った学習機会がないことをあげている市民の割合	%	12	12	13	12	
イ 自分のテーマに合った学習機会が得られる	学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないことをあげている市民の割合	%	19	23	19	21	
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

多くの市民に読書に興味をもってもらい、学習活動を推進するため、昭和33年に図書館設置とともに開始された。紙媒体の情報よりインターネットなどの新たなメディアを通じた情報の取得が重要視されてきているが、親子読書活動など本を通して心のふれあいが、現代社会の中で見直されてきている。ブックスタートの取組は、保護者から好評を得ている。平成22年第2回市議会定例会で、セカンドブック事業の実施を検討してほしいとの意見があった。

4. 事業費の推移

単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)		
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	690	677	666	654	654
	事業費	千円	690	677	666	654	654

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
各種読書推進行事等の開催 ・ブックスタート(24回、2,313人参加) ・おはなし会、おはなしの部屋(139回、3,317人参加) ・夏休み特別講座(6回、186人参加) ・緑陰読書(2回、35人参加) ・おはなし王国等読書まつり(7回、1,529人参加) 学校図書館、読書ボランティアグループとの連携図書館だより等の発行	市民(特に乳幼児、小中学生)を対象とした行事等の開催や、学校図書館・読書ボランティアとの連携による各種事業及び図書館だより等の広報活動を実施することにより、読書に対する興味・関心の醸成及び読書活動の推進が図られた。 また、ブックスタートの活動により、乳幼児の保護者に乳幼児期からの読み聞かせが、赤ちゃんの言葉と心を育むためには大切なことであるとの認識が浸透しつつあり、ブックスタートの参加者数が増えている。

事務事業コード	0110060804050201	事務事業名	図書館読書推進事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が読書に興味を持ってもらうことにより、自分のテーマに合った学習機会が得られることに結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	図書館法及び子どもの読書活動の推進に関する法律により、読書推進を自治体が行うことが求められている。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	図書館(室)とボランティアグループ等が連携をとり、読み聞かせ、おはなし会等の活動の場を増やしたり、館内見学等の受け入れにより図書館が身近な施設と感じてもらい、おはなし会などに足を運ぶきっかけを作ることで成果の向上が期待できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	読書推進活動を廃止、休止した場合、読書離れが進み、教育と文化の向上に支障が出てくる恐れがあり影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費は、各行事等の報償費、消耗品費であり、これ以上の削減は難しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最低限の企画、運営業務にしか職員は携わっておらず、ほとんどがボランティアの方々の協力を得て事業を実施しているものであり、業務時間の削減余地はない状態である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	読書推進事業の受益者は図書館の利用者、おはなし会等の参加者であるが、すべての市民を対象として呼び掛け、実施しているので、公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	各図書館(室)が開催している読書まつり等について、より誰でも気軽に参加できるよう内容の充実に努める。子どもの読書活動を推進する「子ども読書活動推進計画」の見直しにも着手する。						
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	子どもから大人まで誰でも気軽に本と触れ合う機会を増やすため、おはなし会や読書まつり等の事業実施の方法を工夫して、内容の充実に努めていく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局	教育部	花堂 誠		
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)総評	現在、見直し中の「子ども読書活動推進計画」に、子どもたちが読書に興味を持ってもらうきっかけづくりをどのように盛り込むか、十分に協議することが必要である。計画の実現に向けては、今後の組織改編、人員配置を視野に入れつつ、読書まつりやブックスタート事業等の実施方法を工夫、改善していく必要がある。						

1. 基本情報						
事務事業コード	0110060899999901	事務事業名	図書館関係各種協議会等参画事業	担当部	教育部	
				担当課	国分図書館	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 克義	
施策名	05	学習機会の充実		グループ	管理図書グループ	
基本事業名	01	学習環境の整備		内線番号	3052	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 不明)		
	款	10 教育費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	項	06 社会教育費				
	目	08 図書館費		根拠法令・条例等 特になし		
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

日本図書館協会、鹿児島県図書館協会、鹿児島県図書館協会始良伊佐支部に加盟し負担金等を支払うことで、図書館に関する各種研修会への参加、情報収集等を行い職員の資質向上を図るとともに図書館運営の充実を図る。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 加盟団体件数	件	3	3	3	3
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア 加盟団体						
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 活動を円滑にし、会員の資質向上を図る						
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア 学習しやすい環境が整う						
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

鹿児島県図書館協会の会員は、昭和60年には95自治体であったが、市町村合併により平成26年度には44自治体に減少している。

4. 事業費の推移		単位	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	170	171	170	171
事業費		千円	170	171	170	171

5. 平成28年度の実績及び成果

(1) 平成28年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成28年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【負担金・会費支払】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度鹿児島県図書館協会負担金(121,990円) 平成28年度鹿児島県図書館協会始良伊佐支部負担金(39,320円) 平成28年度日本図書館協会会費(9,000円) <p>【研修会参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度県内図書館(室)長及び業務担当者会(2人) 平成28年度鹿児島県図書館協会研修会(1人) 平成28年度鹿児島県図書館大会(21人) 第102回全国図書館大会(東京大会)(1人) 平成28年度県図書館協会始良伊佐支部先進地研修視察(6人) 	<p>鹿児島県図書館協会、鹿児島県図書館協会始良伊佐支部、日本図書館協会に負担金等を支払うことで、図書館についての各種研修会への参加、情報収集等ができ、職員の資質向上や図書館運営の充実を図ることができた。</p>

事務事業コード	0110060899999901	事務事業名	図書館関係各種協議会等参画事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	加盟団体からの負担金等は、人口の区分等により定められた金額により支払っているため、事業費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	加盟団体からの請求に応じた支払い事務のため、職員以外の対応や委託による人件費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性						
		継続						
		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善の方向性		○						
(2)平成29年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島市立図書館が加盟する各種協会が主催する研修会等への参加について、職員への十分な周知を行い参加者数の増加を図る。							
(3)平成30年度の方向性(具体的な取組)	霧島市立図書館が加盟する各種協会が主催する研修会等への参加者増を図り、職員の資質向上に努めていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性								
(2)総評								

